

# 桁打瀬船(けたうたせぶね)

鹿児島県・出水市



桁打瀬漁は木の枠に鉄のツメと網を取り付けて海底を曳く漁法であり、当初は「とり貝」を採取する漁法であったが、その中にエビ類が混入し始めたことから、漁具を改良し現在ではエビ類の中でも特に「クマエビ」を採捕する漁法となっている。

漁具も昭和30年代頃から効率化を図るため、木枠を鉄製枠に変え、それが今日まで使用されている。

採捕されたクマエビは「焼きエビ」として加工され、正月用の贈答品として重宝されている。

桁打瀬漁は当地の主な水揚げ漁業として賑わいを見せていたが、その桁打瀬船も平成17年度現在で5隻まで減少した。

## TOPICS

・桁打瀬漁は毎年11月から翌年3月まで操業されこの季節は鶴の飛来と重なり、出水の「冬の風物詩」として観光スポットにもなっている。

## お問い合わせ先

北さつま漁業協同組合 出水支所

TEL / 0996-67-2133

## 【交通】

バス / JR出水駅から15分

